

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年3月29日

木曾地域振興局

提出区分		実績				
整理番号		14		課題区分 B		
実施機関		木曾保健福祉事務所		担当課	所属	木曾保健福祉事務所
事業名		木曾地域「信州ACEプロジェクト」推進事業			電話	8-238-2211
					E-mail	kisoho-kenko@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	木曾圏域における、各家庭での運動の習慣化及び住民の平均寿命の延伸				
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年都道府県別平均寿命で男性が2位に後退し生活習慣病のリスクや脳血管疾患による死亡率の高さなどが原因と考えられていることから、この克服が健康長寿県としての地位を維持するための喫緊の課題となっている。</li> <li>「長野県総合5か年計画 しあわせ信州創造プラン2.0」の重点政策として「いのちを守り育む県づくり」をめざしており、「第2期信州保健医療総合計画」においても、県民参加の健康づくりの取組を支援していく必要がある。</li> <li>平成26年6月に始まった「信州ACEプロジェクト」は5年目を迎え、国民健康保険の広域化により県も保険者となることを契機に、更なる事業の展開が求められている。</li> </ul>				
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトのPR及び動機付けのために合同庁舎1階に常設の健康情報コーナーを設置する。</li> <li>県民の生活習慣の改善に向け、主に、働き盛りのメタボ対策及び高齢者の健康維持を目的とした運動に係る説明会(情報発信)を行うことで、健康づくりへの行動変容を促す。</li> <li>体力づくりを習慣化するために、若年層から働き盛り世代、更には高齢者をもターゲットにした日常生活の中でできる運動の方法や器具の紹介を行う。</li> </ul>				
	事業期間	平成30年9月6日 ～ 平成31年3月28日				
成果目標 (成果指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同庁舎1階に常設の健康情報コーナーを設置する。</li> <li>県民を対象にした運動説明会の開催(1回)</li> <li>運動説明会の内容をまとめた冊子の作成</li> <li>会議等での運動器具の展示及び貸出(2回以上)</li> </ul>					
(単位:円)						
事業費	事業を構成する細事業名等		実施内容	計画(実績)額	備考	
	健康づくり講習会実施事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>働き盛りのメタボ対策及び高齢者の健康維持を目的とした運動に係る講習会の実施</li> <li>講習会の内容をまとめた冊子を作成する。(今後、木曾管内の町村、社会福祉施設、民間企業等に配布)</li> </ul>	167,480	講師謝金、旅費、冊子作成	
	健康・運動器具等展示・普及事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>合庁に健康情報コーナーを設置しPR</li> <li>会議時等に健康・運動器具や運動方法の紹介</li> </ul>	427,014	健康・運動器具等の購入	
	合計			594,494		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価	
	<p>①書架を購入し、合庁1階に常設の健康情報コーナーを設置した。血圧・体重等の健康チェックと健康情報提供を同時にできる場となった。</p> <p>②働き盛り世代のメタボ対策及び高齢者の健康維持をテーマとした健康づくり普及セミナーを10月9日に開催し、木曾地域の一般住民、町村役場職員、木曾管内の県職員等53名の参加があった。</p> <p>③地域住民に日常的に体力づくりに取り組んでもらうために、運動機器、体組成計及び血圧計を購入し外部に貸出しができる体制を整え、各種の会議等において使用方法の紹介及び機器の展示を行った。(延べ18回、延べ参加者400人)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー参加者から、運動内容を「目に見える形で教えて欲しい」との声があり、反響が大きかったことが分かる。また、セミナーに参加した食生活改善推進員から運動をテーマにした講座開催を要望されていることから、確実に地域住民の運動に対する意識は変わりつつあると考えられる。</li> <li>主にシニア大学で運動機器の展示等を行っているが、休み時間に受講生が自主的に機器を使用している姿が見られた。また、内部だけでなく外部の会議での展示・試用を求められ、貸出の問合せがあるなどから徐々に機器の存在が浸透して来ていると考えられる。</li> <li>これまで2階の保健福祉事務所で提供していた健康情報を来庁者の多い1階入口で発信でき、住民からストレッチに関する資料が欲しいと要望があるなどの啓発効果があった。</li> </ul>		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下	
今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>機会を見つけて住民に体力づくりの必要性を啓発していく。</li> <li>セミナーの内容をまとめた冊子を作成し、地域での運動啓発に使用していく。</li> <li>運動機器等の展示・試用を通して、外部への貸出し件数を増やして行く。</li> </ul>				